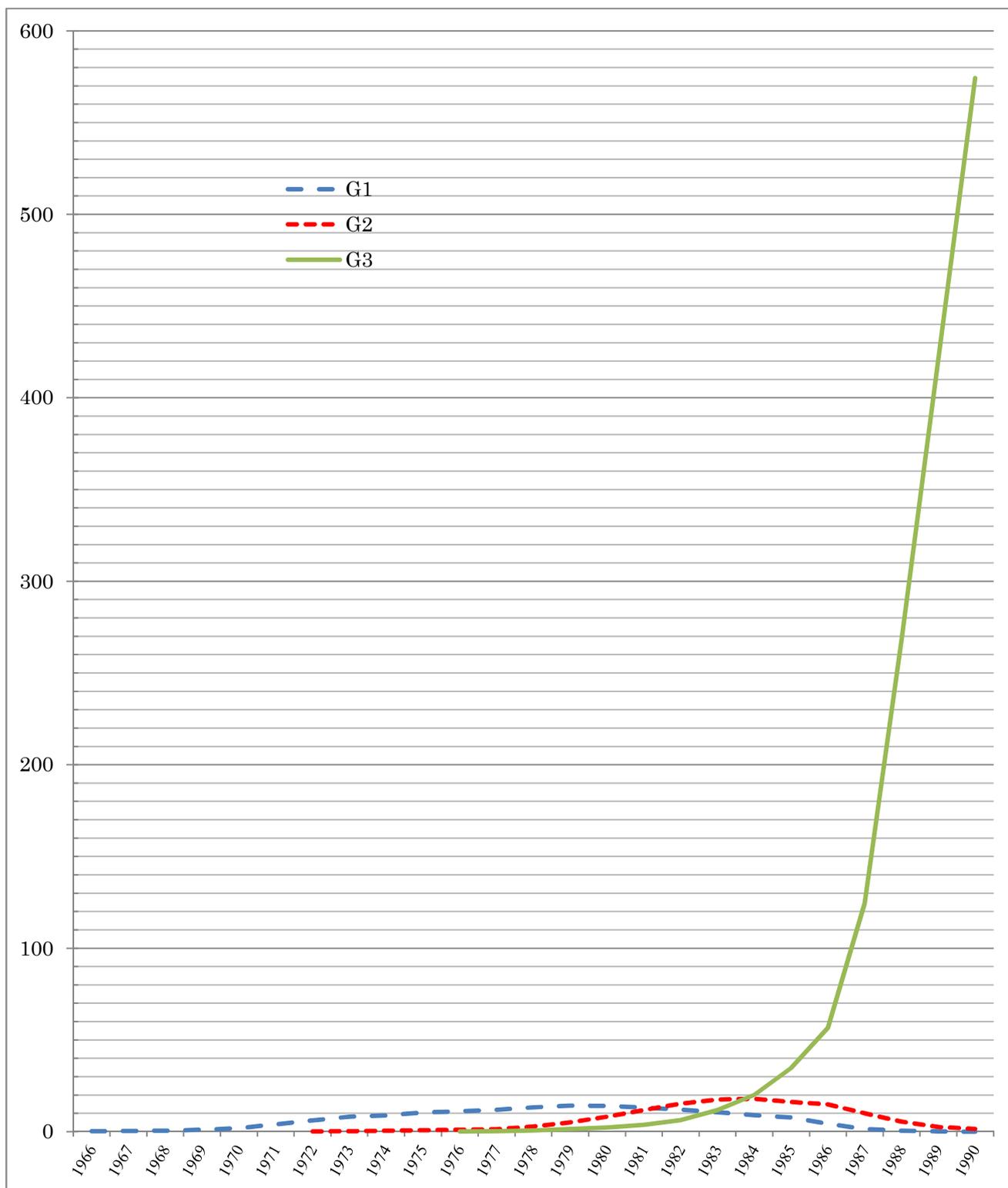


北米におけるFAX設置台数 1966-1990



[出典]Farrell Shapiro "Standard Setting in High-Definition Television" *Microeconomics*(1992) p.68 の数値データをもとにグラフ化
http://www.brookings.edu/~media/Projects/BPEA/1992%2520micro/1992_bpeamicro_farrell.PDF

[原出所]GMS Consulting Company

1902年に有線電送写真技術(FAX)が実用化され、世界各地の新聞社によって利用されるようになる。----利用者は新聞社に限定され、ネットワークはそれ以上の広がりを見せなかった。「文字」による情報伝達技術としては、電報に対する技術的優位性が低かった。(FAXは、署名など文字画像に対応しているという技術的に相対的優位性を持つてはいたが、そうした機能に対するMarketのdemandが低かった。)

	G1	G2	G3
1966	0.2		
1967	0.4		
1968	0.5		
1969	1.0		
1970	1.9		
1971	4.0		
1972	6.1	0.1	
1973	8.1	0.2	
1974	8.9	0.5	
1975	10.4	0.8	
1976	11.1	1.0	0.1
1977	11.9	1.3	0.3
1978	13.2	2.8	0.7
1979	14.2	5.1	1.5
1980	14.1	8.1	2.3
1981	13.1	11.8	3.7
1982	12.0	15.3	6.3
1983	10.6	17.6	11.8
1984	9.0	18.0	20.1
1985	7.7	16.2	34.7
1986	4.3	14.9	56.7
1987	1.5	10.0	124.3
1988	0.5	5.5	268.1
1989	0.1	2.6	421.6
1990	0.0	1.4	574.3

アメリカではベル・システムは電話回線に非ベル系端末装置の接続を 1956 年まで禁止していた(最高裁判決により解除)

連邦通信委員会(FCC)は、1968年に他社が提供する付属装置の接続を禁ずる AT&T の営業規則の見直しを命じ、電話端末機器への競争を導入した。
[<http://it.jeita.or.jp/infosys/f-office/newyork0209/newyork0209.html>]

1972年:電話網を利用した FAX の送受信が日本において解禁

1985年:電話機を始めとする端末設備の接続が日本において自由化

南敏「FAX」『世界大百科事典』平凡社

「ファクシミリは 1843 年イギリスのペーン Alexander Bain によって発明された。S. F. B. モースの電信機の発明に遅れること 5 年、A. G. ベルの電話機の発明に先立つこと 33 年である。日本では 1928 年に丹羽保次郎、小林正次らにより、外国とは独自の NE 式写真電送装置が開発され、昭和天皇御大典の写真が京都から東京まで電送されたのがファクシミリの始まりとなっている。ファクシミリは当初、新聞ニュース写真の電送、警察・国鉄(現 JR)などの指令通信、NTT の電報集配信業務、気象図の電送などの特定分野で使用されていた。初期の装置は操作が複雑で価格も高く、また伝送速度が遅く通信料金も高かったため普及が遅れた。しかし 72 年に、それまで規制のあった電話網利用のファクシミリが自由に使えるようになり、ファクシミリ技術が急激に進展し利用分野も増え、一般事務用・家庭用として、急速に普及率が高まっている。」

年	規格名	伝送回線	伝送方式	伝送速度	解像度	A4-1 枚送信の送信時間	備考
1966	G1 FAX	電話音声回線	アナログ伝送		100dpi	6 分間	G1 同士でもアメリカとヨーロッパや日本とは送受信ができなかった
1971	G2 FAX				100dpi	3 分間	データ圧縮技術、世界的な互換性(compatible worldwide)を確保
1979	G3 FAX		ISDN 回線	デジタル伝送	4.8kbps	200dpi	1 分間
1984	G4 FAX	64kbps			400dpi	10 秒間	完全なデジタル FAX システム

「ファクシミリ(FAX facsimile)は書類の内容を電話回線で相手に送る装置です。現在はオフィスだけでなく、家庭にも普及しています。ところで、このFAX、起源は古く、電話よりも早い 1843 年にイギリス人が発明していたそうです。しかし、当時の技術では雑音が入り込んで実用にならないものでした。日本で初めて一般事務用が販売されたのは、それから1世紀以上もたった 1973(昭和 48)年でした。この最初のオフィス用FAXを開発したのは松下通信工業でしたが、その営業マンが初めてFAXを売り込もうとしたとき、商品説明に苦労したという話が伝えられています。」『現代用語の基礎知識 2004』

「FAX情報サービス[1992 年版 ニュービジネス] オフィスでファクシミリ(FAX)を導入しているところはすでに 70%を超えている。また一般家庭用にも 10 万円以下のFAX機器が開発され、需要を広げつつある。そうした FAX 端末向けに定期的に情報を提供する FAX 情報サービスがいくつも現れている。主なところを紹介すると、中古車販売店向けの売れ筋情報の提供、学生の最新の就職活動を企業向けに提供するサービス、FAX でパソコンソフト情報を流し、併せて商品購入の申し込みも受け付けるもの、生保会社の女性ユーザーへの財テク情報の提供、F1 レース結果を 30 分後に知らせる等々、FAX の浸透に伴い、さまざまな情報サービスが開発されつつある。ハードコピーで保存でき、かつ同報通信など大量伝達もできる FAX は、新しいメディアとして注目されている。」『現代用語の基礎知識 1992』